



平成28年1月25日

資料提供先:岡山県政記者クラブ、岡山市政記者クラブ

一般国道180号 総社・一宮バイパス
(岡山市北区^{ならづ}檜津～岡山市北区^{いちのみや やま さき}一宮山崎)が、
平成28年3月20日(日)に開通します。
～地域の利便性と安全性の向上～

一般国道180号 総社・一宮バイパス(岡山市北区檜津～一宮山崎間(延長1.5km))が、
平成28年3月20日(日)に開通することとなりましたのでお知らせします。

総社・一宮バイパスは、一般国道180号の岡山市北区檜津から総社市^{ならづ}井尻野^{いじりの}に至る区間の交通混雑の緩和、交通安全の確保などを目的とした延長15.9kmの道路です。

今回の開通区間は、岡山環状道路の一部を形成し、岡山西バイパスと一体となって、岡山市街の西側から流入する交通を適切に分散することが期待されます。

※開通式及び通行が可能となる時間については、詳細が決まり次第、あらためてお知らせします。

【今回の開通により期待される主な整備効果】

◆岡山空港へのアクセス性が向上

・今回の開通により、渋滞箇所の多い岡山市中心部を回避し、交通分散が図られることで岡山空港へのアクセス性が向上することが期待されます。

◆吉備SICへのアクセス性が向上

・今回の開通により、吉備SICへのアクセス性が向上され、高速道路を利用した広域的な救命救急活動の迅速化が期待されます。

◆周辺地域の学校で通学路の安全性が向上

・今回の開通により、ゆとりある歩行空間が整備されるため、安全・安心な通学路として利用されることが期待されます。

引き続き、総社・一宮バイパスを整備することで、更に交通網が充実し、物流の効率化や地域産業の活性化なども期待されます。

【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所

TEL 086-214-2220(代表) 086-214-2310(計画課直通)

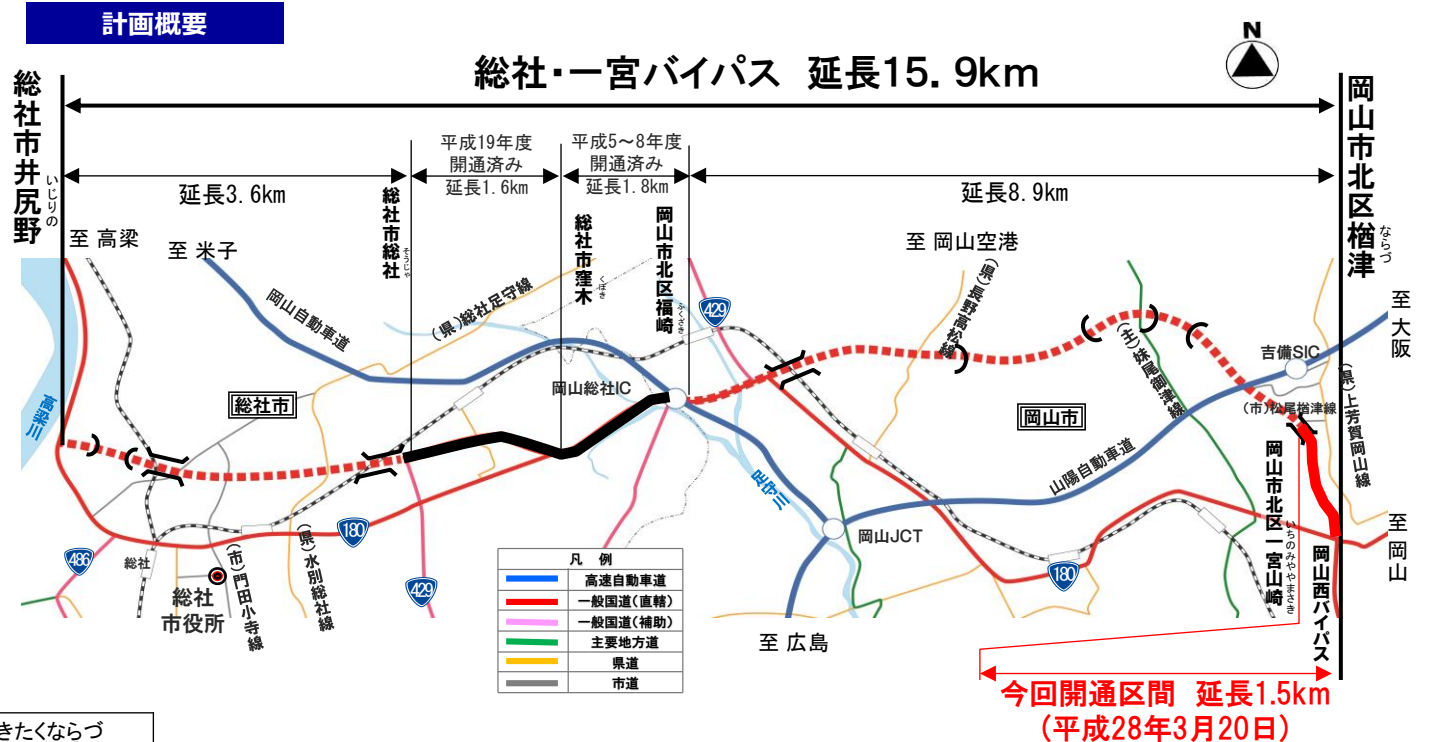
副所長(改築) 藤原 優 (ふじはら まさる) (内線204)

<担当>計画課長 山下 英夫 (やました ひでお) (内線261)

※本記者発表は、岡山国道事務所ホームページ(アドレス:<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakoku/>)にも掲載しています。

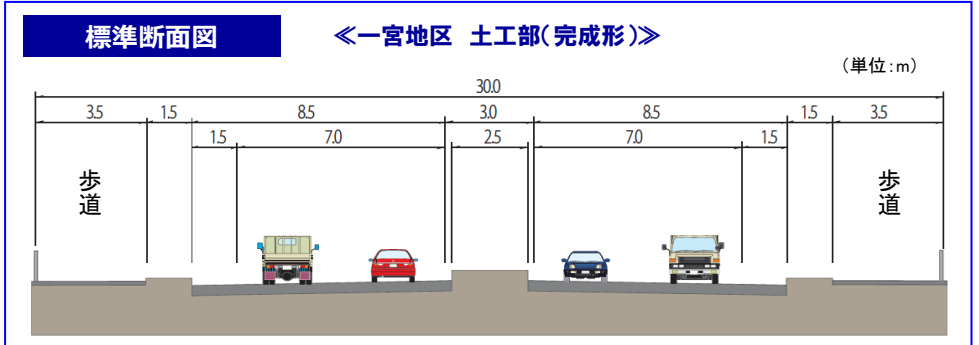
事業の概要

- 総社・一宮バイパスは、一般国道180号の岡山市北区榎津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長15.9kmの道路です。
- 一宮地区は、平成23年度から工事着手しており、岡山市北区榎津から岡山市北区一宮山崎までの**延長1.5kmが平成28年3月20日に暫定2車線で開通**します。



起 終 点	おかやまけんおかやましきたくならぶ 起点：岡山県岡山市北区榎津 おかやまけんそうじゃいじりの 終点：岡山県総社市井尻野
計画延長	延長15.9km
設計速度	60km/h
車線数	4車線

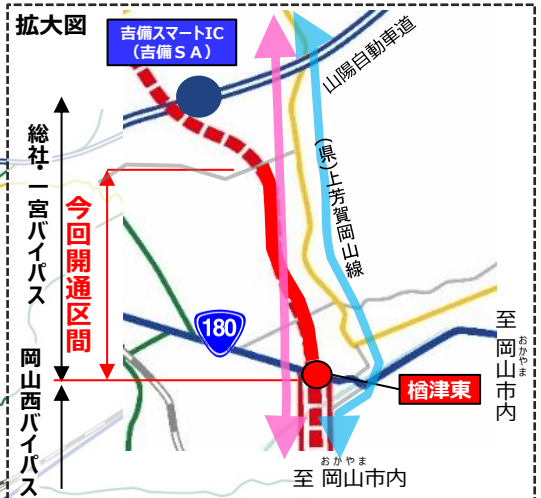
※今回開通するのは4車線のうちの2車線です。



整備効果：岡山空港へのアクセス性向上

- 今回の開通区間は、岡山西バイパスと一体となって岡山環状道路の一翼を担っています。
- 総社・一宮バイパスの開通により、**渋滞箇所が多い岡山市中心部を回避し、交通分散が図られることで、岡山空港へのアクセス性の向上が期待されます。**

岡山空港とのアクセス性が向上（例：玉野市方面との連絡）



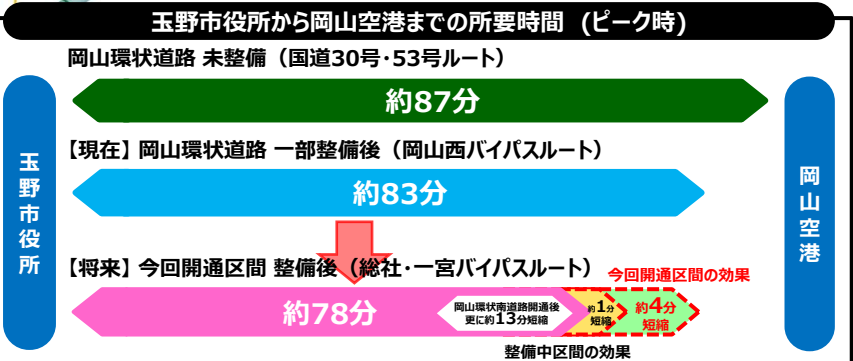
【凡例】
 吉備スマートIC～岡山市役所
 ←→ : 岡山環状道路 未整備 (国道30号・54号ルート)
 ←→ : 岡山環状道路 一部整備後 (岡山西バイパスルート)
 ←→ : 今回開通区間 整備後 (総社・一宮バイパスルート)



【清心町交差点】渋滞状況（東方面を望む）



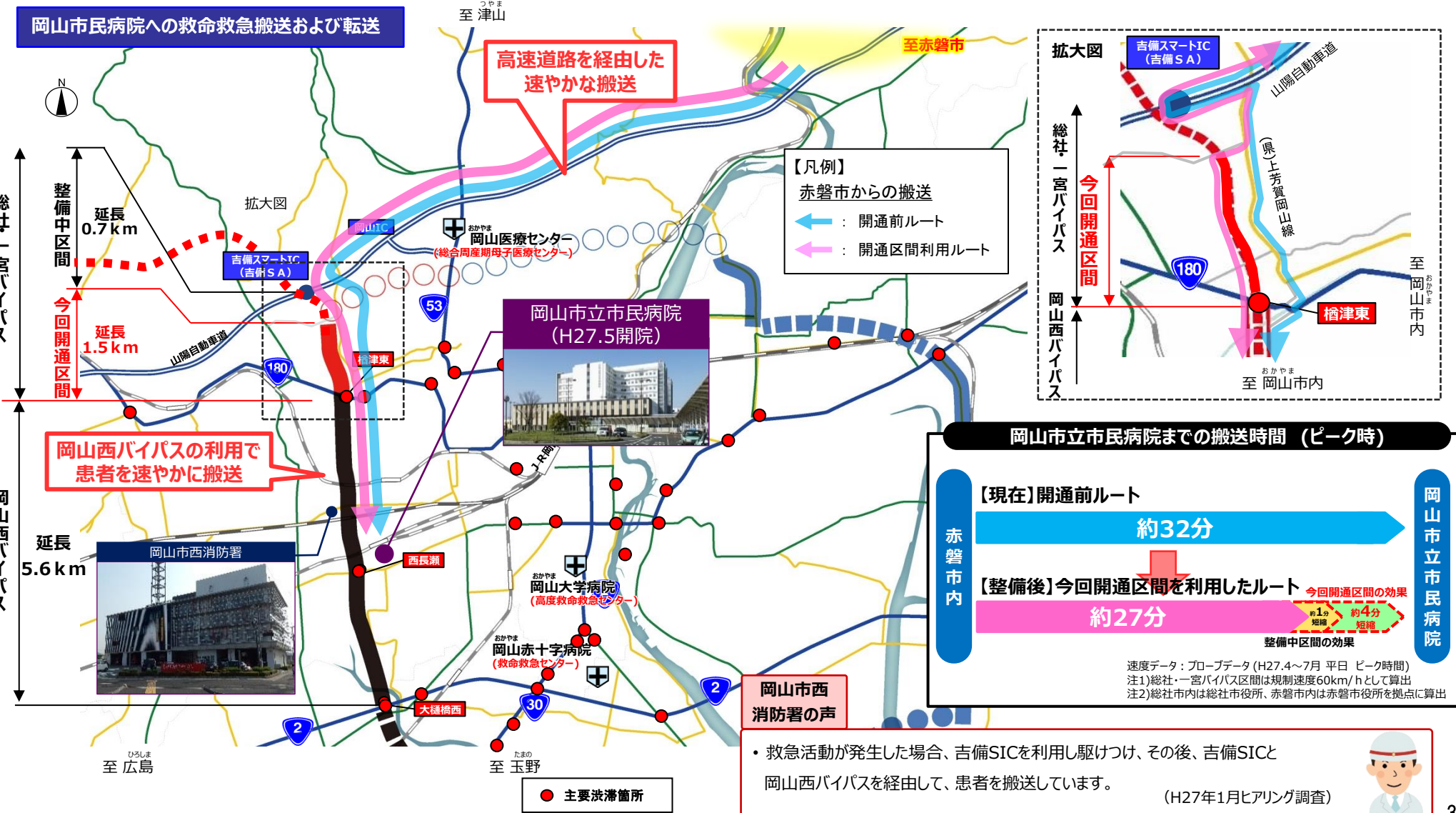
【津島交差点】渋滞状況（東方面を望む）



速度データ：プローブデータ (H27.4～7月 平日 ピーク時間)
 注) 総社・一宮バイパス、岡山環状南道路区間および岡山環状南道路は規制速度60km/hとして算出

整備効果：救急搬送の迅速化

- 岡山西バイパス沿線に、初期救命救急病院(24時間365日、症状にかかわらず救急患者を受け入れ、初期診療を行う)である岡山市民病院が開院しており、岡山市内だけでなく赤磐市からも救急患者が搬送されています。
- 総社・一宮バイパスの開通で、吉備スマートICへのアクセス性が向上することにより、更なる救命救急活動の迅速化が期待されます。

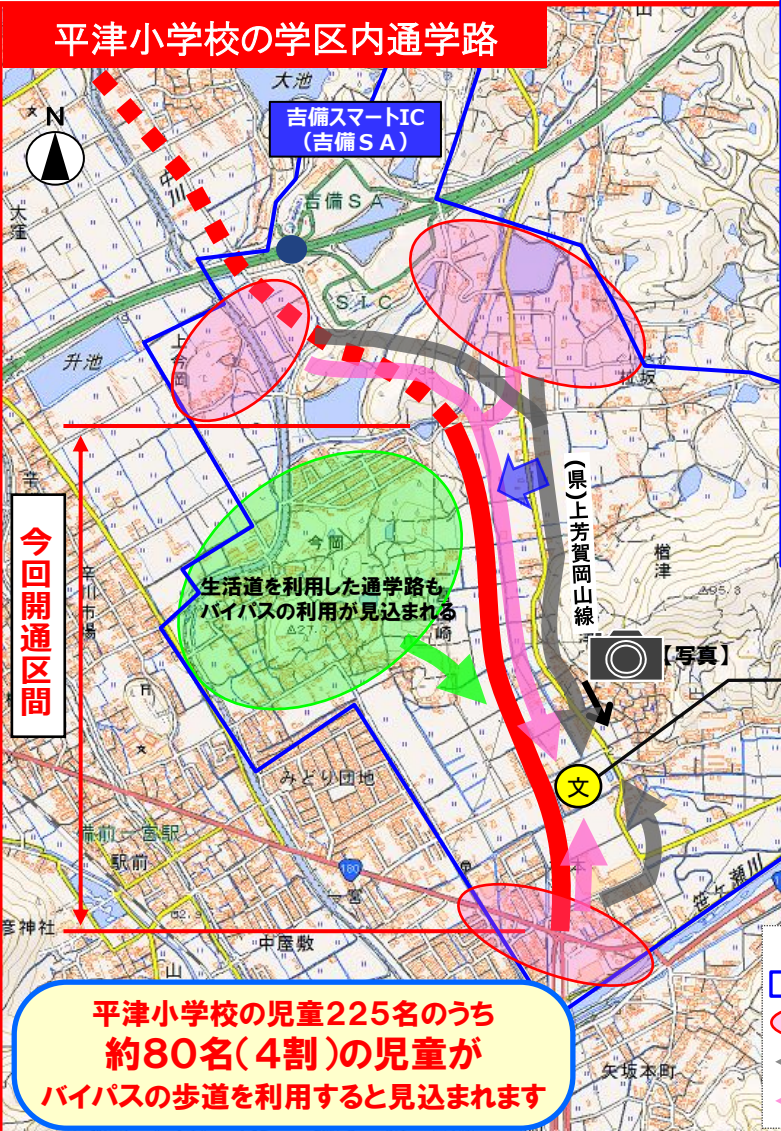


整備効果：通学路の安全性向上

かみはがおかやま

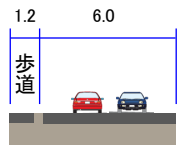
- (県)上芳賀岡山線を利用している児童が**バイパスの幅広な歩道に転換することで通学路の安全性向上が期待**されます。
- バイパス開通でゆとりある歩行空間が整備され、**バイパス周辺地域の児童も安全・安心な歩道が利用**できることとなります。

平津小学校の学区内通学路



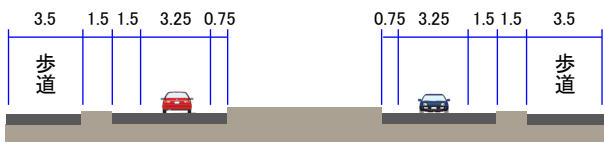
断面図(単位:m)

現在の通学路:(県)上芳賀岡山線



【写真:平津小学校の通学状況】

転換が見込まれる通学路:総社・一宮バイパス(今回開通区間)



開通イメージ(岡山西バイパスの歩道)

岡山市立
平津小学校
【生徒数225名】

【凡例】

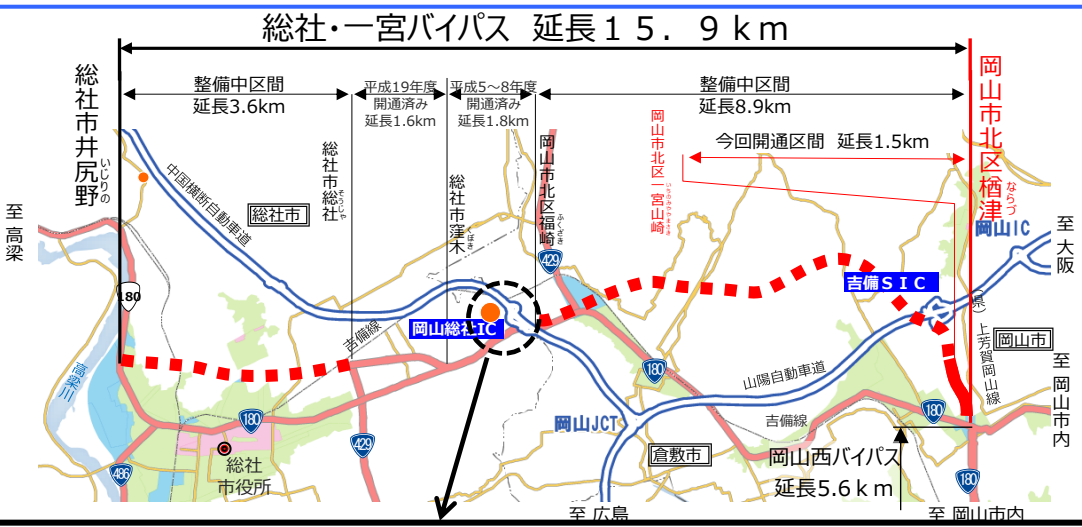
- 平津小学校の区域図
- バイパスの利用が見込まれる集落
- 現在の通学路(県道を利用)
- バイパスを利用した通学路(見込み)

学校関係者の声

- ◆バイパスが開通すれば、狭い歩道から広い歩道に通学路を変更して児童が安全に利用することができます。
- ◆バイパスに車が転換すれば、(県)上芳賀岡山線の車が減るので、今後も通学路として利用する児童の安全性も向上すると期待しています。

【参考】全線開通後における地域経済への期待

- 総社市は地震等の災害が少なく、中国地方の山陽・山陰や四国地方への交通結節点であり、岡山総社ICの設置によって、**周辺に物流企業が進出しており、GLP岡山総社 I・II が稼働、日本郵政株式会社がH29年春に稼働する予定であり、両社で約2000人の雇用が見込まれる。**
- 吉備SIC周辺においても、総社・一宮バイパスが、岡山環状道路、**山陽自動車道へ接続することで、岡山総社ICと同様の開発ポテンシャルを期待できます。**



【『GLP岡山総社』の立地選定理由】

- 広島、神戸、四国、山陰に2時間程度でアクセス可能（岡山市内まで30分～40分）
- 西日本の中心に位置するため 広域配送拠点としても優れている。
- 広島県での立地より 物流コストが2～3割安い。
- 地震の発生確率や規模などのBCP面^{※2}でも 日本で随一の安定性を誇る。

※2：BCP（事業継続計画）
 災害などが発生したときに重要業務が中断しないこと。
 また、万一事業活動が中断した場合でも、重要な機能を再開させ、業務中断に伴うリスクを最低限にするために、事業継続を戦略的に準備しておく計画。

【H26年7月ヒアリングより】

撮影 平成27年度

● 日本郵政(株)
 ● 日本郵便輸送(株)
 H29春から稼働

GLP総社 I GLP総社 II

岡山総社IC

国道180号から中国横断自動車道に連結

● H3年3月 倉敷JCT～岡山総社IC間 開通（福山・四国方面に連絡）
 ● H5年3月 岡山総社IC～岡山IC
 ● H5年3月 総社一宮バイパス 部分開通

GLP岡山総社 I・II

西日本最大級の物流施設

稼働率90%以上
 （GLP岡山総社 I）

【施設概要】
 施設名称：マルチテナント型先進的物流施設^{※1}
 延床面積約：約156,000m²（I・II合計）
 入居企業(流通)：西日本日立物流サービス(株)等、計4社
 トラックバース：計234台（I・II合計）
 ※1：各フロアに大型トラックが直接乗り入れ可能な物流施設

出典：グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社（GLP）HP
 資料：H26年7月国土交通省調べ
 写真提供：グローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社（GLP）

吉備SIC周辺地域は、岡山総社IC付近と同様の立地条件を持つことから、開発ポテンシャルが高い